

令和2年7月 真鶴町教育委員会定例会要旨 会議録

期 間： 令和2年7月20日（月） 午後2時3分より

場 所： 真鶴町民センター 3階 講堂

出席者： 牧岡努教育長、瀧本朝光委員（教育長職務代理者）、
草柳栄子委員、佐々木美穂委員、松野司委員
岩本幹彦教育課長、山田譲生涯学習担当課長
水野琢磨学校教育専任課長
書記：小野真人主幹兼学校教育係長、秋澤勝太主事

欠席者： なし

傍聴者： なし

議事

1 開会

教育長あいさつ

2 教育長の報告

（1）学校教育に係る部分について

- ・園・学校の様子に関する事
- ・児童生徒指導に関する事
- ・学校の安全に関する事
- ・その他

（2）生涯学習に係る部分について

- ・スポーツ・文化事業に関する事
- ・青少年育成に関する事
- ・文化施設に関する事
- ・その他

3 協議事項

（1）町議会9月定例会提出の補正予算について

課長： 私の方から説明させていただきます。資料1をご覧ください。例年ですと9月に説明をさせていただいているものですが、9月に町長選挙が行われる関係で議会が8月18日から始まるという日程でひと月早くなります。その関係で、

この時期に補正予算についてご審議していただくことになりました。それでは 1 ページをご覧ください。歳入です。14 款国庫支出金 2 項国庫補助金 5 目教育費国庫補助金です。まず、1 節の教育総務費補助金です。一連のものはコロナ関係の対策費の補正予算でございます。学校保健特別対策事業費補助金です。感染症対策のためのマスク等購入事業ということで、学校再開時にあたり集団感染のリスクを避けるため学校関係者が必要とする経費の補助を行います。こちら一人当たり 340 円と上限が決まっております。小学校が 192 人ですので 65 千円。中学校が 115 人ですので 39 千円それぞれを補正として挙げさせていただきます。こちらが合わせて 104,000 円になります。それから、学校再開に伴う感染症対策学習保障に関わる支援事業ということで、感染リスクを最小限にしながら学校再開し、十分な教育活動を継続するため、感染症対策を徹底しながら児童及び生徒の学びを保障するための取り組みに必要な経費ということで、こちら上限が小・中学校各 100 万円ということで、200 万円の補助が決定しています。こちらを計上して 2,000,000 円と明記されています。合わせてこちらの補助金 2,104,000 円の計上をしています。次いで小学校費 2 節小学校補助金です。公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金でこちら事業の内定通知書がまいりまして、交付の内定が出ましたので減額補正をするものです。小学校分として 1,852,000 円の減額。3 節中学校費補助金同様の理由でこちらについても減額を行うということで 1,850,000 円の減額です。続いて 3 ページをご覧ください。14 款国庫支出金 3 項委託金 4 目教育支援体制整備事業費交付金でございます。こちらの方は、教育支援体制整備事業費交付金ということで幼児教育の質の向上のための緊急環境整備事業ということで小・中とは別の交付金が出ます。これにつきましては、10 割の国負担ということで 523,000 円を予算計上するものでございます。以上が歳入になります。

4 ページをお願いします。4 ページ以降につきましては歳出でございます。9 款教育費 1 項教育総務費 2 目事務局費につきまして、2 節の給与、3 節の職員手当それぞれ教育長の給料と期末手当でございます。特別職三役につきましては、コロナ対策費の財源確保ということでそれぞれ 5 % カットするという申し合わせの中でこちらの減額があります。それぞれ、100,000 円と 61,000 円です。7 節の報償費です。学校事故調査委員謝礼です。当初予算で積んでおいたのですが、8 月以降の委員の出席にあたる謝礼を計上しておりませんでしたので回数を見込んで計上するものであります。924,000 円の追加補正です。8 節の旅費につきましては、それぞれ委員の費用弁償ということで 57,000 円計上しております。

6 ページをお願いします。9 款教育費 2 項小学校費 1 目学校管理費です。先ほど歳入の方で説明いたしました。補助金の使い道についてこちらで計上いたしました。10 節需用費の消耗品費でございます。小学校ではフェイスシールド等の消耗品を購入するというので 4 月から 3 月支出見込額計 130,493 円を計上します。学校再開に伴う感染症対策・学習保障に等に係る支援事業ということでコピー用紙、トナーの購入ということで 215,358 円を計上します。合わせまして 346,000 円の追加補正を計上するとしています。それから、11 節の役務費通信運搬費になります。こちらも学校再開に伴う感染症対策・学習保障に等に係る支援

事業ということで臨時休業期間中に家庭学習の課題等の送付に係るレターパック代ということですので送っているものと今後あるかもしれないと見込んでの計上となります。312,678 円ということで 313,000 円を計上します。それでは、7 ページをお願いします。同じく、教育費小学校費学校管理費でございます。17 節の備品購入費で学校運営用備品購入費は学校保健特別対策事業費補助金でございます。先ほどの学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業の一環として、飛沫防止パーテーション購入 488,400 円、靴消毒用マット購入ということで玄関と各学年分ということで 252,769 円計上します。網戸購入ということで、712,800 円合計 1,454 千円を追加計上しています。30 節図書購入費です。教師・児童用図書購入費ということで、こちらのほうは、学校再開に伴う感染症対策・学習保障に等に係る支援事業ということで家庭学習用教材購入、算数 2 種と国語で合計 54,780 円こちらの方はコピーして配っても問題ないような教材を購入する予定です。こちらが 55 千円の追加計上になります。8 ページをお願いします。9 款教育費 3 項中学校費 1 目学校管理費です。中学校での対応になります。10 節の消耗品費になります。感染症対策のためのマスク等購入事業としてマスクや手袋を購入、これが、78,000 円。学校再開に伴う感染症対策・学習保障に等に係る支援事業ということで小学校と同様にコピー用紙とトナーの購入ということで、258,429 円。消耗品では、合計 337 千円を追加計上。11 節の通信運搬費でございます。学校再開に伴う感染症対策・学習保障に等に係る支援事業ということで小学校同様休業中の家庭学習課題等のレターパック費用ということで 414,520 円。415 千円を追加計上。それから、手数料でございます。修学旅行キャンセル手数料です。こちら、生徒分、教員分合計 143,904 円見込んでおりました。国のほうで負担していただけるということになりましたので、教育委員会で計上していた分は 0 になりました。9 ページは同じく中学校費の学校管理費でございます。備品購入費です。学校再開に伴う感染症対策・学習保障に等に係る支援事業ということで消毒用マット 147,499 円、エアコン購入 759,000 円、網戸購入 448,800 円合計 1,356 千円追加計上しています。10 ページ、9 款教育費 4 項幼稚園費 1 目幼稚園費、先ほど説明した補助金の補助をいただけるという事業でございます。10 節の消耗品費でございます。こちらのほうが、教育支援体制整備事業費交付金事業ということで、幼稚園において感染症対策に必要なマスクやパーテーションといった消耗品を購入するために、417,730 円。418 千円を計上するものであります。11 ページは同じく、交付金事業でございます。こちらは、靴消毒用マットの購入費になります。105,270 円。106 千円を計上いたします。12 ページをお願いします。5 項社会教育費 4 目町民センター費になります。14 節工事請負費、自家発電機更新工事ということで、老朽化により腐食しているため動作不能。消防の是正指示あり。町民センターは指定緊急避難場所及び第 2 順位の災害対策本部設置施設の位置付けとなっていることから早急にやらなければいけないということで補正予算対応で上げさせていただきました。39,255,700 円。39,256 千円予算計上するというものでございます。13 ページは保健体育費保健体育総務費でございます。12 節の委託料ソフトバレーボール大会審判委託料です。新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、大会を中止としたため減額

するもので、30,000 円の減額になります。14 ページをご覧ください。
同じく保健体育総務費でございます。10 節需用費の修繕料でございます。岩ふれあい館公衆便所の改修です。ドアが老朽化で痛んでおり修理したいと上げたんですが、町長査定の段階で当初でやりなさいとのことで 0 になりました。手数料でございます。岩ふれあい館 PCB 分析調査手数料です。老朽化しているため改修する必要があるということで令和 4 年 3 月 31 日までに処理を完了する必要があるため 44,000 円を計上しました。12 節の委託料岩ふれあい館にある遊具の撤去の当初予定していたものから追加したため 87,000 円追加計上したものです。以上が 9 月補正にける内容でございます。

教育長： それでは、1 ページから 3 ページの歳入予算に関してご質問、ご意見を伺います。いかがでしょうか。では、無いようでしたら 11 ページまでの園、学校関係の歳出予算についてご質問、ご意見がありましたらおねがいします。

委員： 8 ページの修学旅行キャンセル料なのですが、小学校はないですね。

係長： 小学校につきましては、修学旅行の延期という形をとっておりますので、目的地は変わらないため、キャンセル料は発生しておりません。中学校は、目的地自体を改めて変えて検討するということで、最初に企画していた京都・奈良の企画料が発生していますのでその分のキャンセル料になります。

委員： ありがとうございました。

教育長： 他にいかがでしょうか。では、12 ページから 14 ページの社会教育関係の内容についてご質問、ご意見ありましたらお願いします。全体を通してありましたらお願いします。では町議会 9 月定例会補正予算について、この案で提出をお認めいただけるかたは挙手をお願いします。

全委員： （全員挙手）

教育長： 全員賛成です。では、協議事項(2)令和元年度教育委員会関係決算について事務局をお願いします。

(2)令和元年度教育委員会関係決算について

課長： 資料 2 をご覧ください。歳入からご説明いたします。11 款 分担金及び負担金、1 項 負担金、5 目 教育費負担金、決算額は 2,127,690 円。幼稚園管外教育受託児童負担金で、前年度比 539,890 円の増です。真鶴町外に居住しながら、町立ひなづる幼稚園に通っている園児 4 名に係る受託料となります。10 月からの保育料無償化に伴い受託児童負担金の額が増額となったことによる増です。園児内訳は 3 歳児 2 名、5 歳児 2 名です。12 款 使用料及び手数料、1 項 使用料、6 目 教育

使用料、決算額は7,909,880円。教育使用料の内容として、幼稚園保育料、美術館観覧料、博物館観覧料、公民館使用料、町立体育館使用料、学校開放施設使用料で、前年度対比3,059,715円の減額です。減額の主な理由としては、幼稚園保育料で1,269,200円の減。これは令和元年度の在園園児数が33名で前年度に比べて3名の減と10月から保育料が無償化となったことです。美術館観覧料では、1,546,400円の減。前年度は開館30年特別展を開催したことにより、入館者が増加しましたが、令和元年度は通常の企画展の実施となったことと台風・コロナ感染症拡大等による閉館が多かったこと等が減額となった理由です。13款国庫支出金、2項国庫補助金 5目 教育費国庫補助金 決算額12,164,000円は、前年度対比12,108,000円の増です。内訳ですが、教育総務費補助金決算額78,000円は、要保護生徒1名及び特別支援学級就学児童3名、生徒2名にかかる補助金で前年度比22,000円の増です。また、幼稚園、小中学校の特別教室等の空調設備設置事業について、小学校費補助金5,926,457円、中学校費補助金3,930,711円、幼稚園費補助金2,228,832円が皆増となったことが増額の主な理由です。14款県支出金 2項県補助金 7目教育費県補助金 決算額983,000円は前年度対比476,000円の増です。内訳は前年度からの継続事業である放課後子ども教室推進事業費補助金が276,000円で6,000円の増と土曜日の教育活動支援事業費補助金が265,000円で28,000円の増です。また、新規に市町村スポーツ施策推進補助金442,000円が皆増となりました。これは、オリンピック・パラリンピックに合わせて交付される補助金で、町民運動会、真鶴半島駅伝、ニュースポーツ大会が対象事業です。9目神奈川県市町村事業推進交付金は、青少年行政推進事業交付金決算1,090,000円で、前年度対比243,000円の増です。増額の理由は、海と山の子どもたちの交流会が令和元年度は受入れ年度のため、増額となりました。3項委託金、5目教育費委託金は、前年度同様対象事業がありませんでした。一昨年、県からの委託を受けた小中一貫教育推進モデル校事業実施いたしました。15款財産収入、2項財産売却収入、1目物品売却収入のうち、美術館図録等売却収入 決算額は963,250円で、前年度に対し682,000円の減です。前年度は開館30年記念展に合わせて図録を新たに作成したことや、絵葉書の種類を増やしたことにより増額となりましたが、今年度は新規の販売物もなく、入館者が減少したことにより減となりました。16款寄附金1項寄附金5目教育費寄附金 決算額599,997円は、小学校費寄附金242,000円、これは、まなづる小学校バス通学保護者会寄附金。幼稚園費寄附金323,000円、これは、ひなづる幼稚園通園バス利用者保護者会寄附金。教育総務費寄附金34,997円、これは、図書館リサイクルフェアで寄せられた寄附金。前年度対比31,220円の減となっております。17款繰入金1項 基金繰入金5目 奨学基金繰入金150,000円は、高校入学支度金として一人当たり30,000円5名分です。6目 学校図書等整備基金繰入金は、前年度と同様、繰入はありませんでした。7目 美術館運営基金繰入金2,000,000円は、前年度対比727,760円の増です。19款諸収入4項雑入1目雑入のうち教育委員会関係です。公民館・図書館のコピー機使用料、町民センター・町立体育館自動販売機電気料の合計として367,304円。海の学びミュージアムサポート補助金6,000,000円は、28年度からの継続で「日本海事科学振興財団 船の科学館」より、貝類博物館で実施する、「海の学び」からは

じめるまちづくり事業への補助金と新規事業として海の学びミュージアムサポート補助金（博学連携）が追加されました。町民音楽祭模擬店売上代 7,500 円は前年度に引き続き音楽祭の開催時に青少年指導員の方々が実施した模擬店の売上です。以上、教育委員会関係歳入決算計 34,362,621 円、前年度決算額 21,228,745 円、比較増減額 13,133,876 円の増額となりました。

続きまして、歳出です。歳出は、2 ページ目の教育費決算額一覧と、別添資料主要事業実績一覧で説明させていただきます。初めに、令和元年度の教育費歳出決算額につきましては記載のとおりですが、前年度決算額との比較増減が大きいところについて、説明させていただきます。1 項教育総務費 2 目事務局費、決算額 79,559,381 円、前年度対比 12,039,072 円の減です。これは人事異動による減額が主な要因です。3 目教育振興費決算額 20,075,436 円は前年度対比 3,263,524 円の増です。主な理由は、新規事業として学校教育あり方検討会委員報酬 232,000 円が皆増となったこと。同じく新規事業として、副読本研究事業の印刷製本費 2,252,250 円を支出しました。平成 23 年度に作成したものの改訂版を小学校分 500 部、中学校分 450 部作成。令和 2 年度当初に小学 3 年生から 6 年生の児童と中学生全員に配付し、令和 3 年度以降は、それぞれ新小学 3 年生と新中学 1 年生に配付いたします。同じく新規事業として教育子育て支援事業の教育子育て支援員賃金に 1,323,000 円を支出しました。教育分野での子育て支援に係る諸課題の把握と対応、虐待事案等に対する実施機関との連絡、調整を行うため、支援員 1 名を 7 月から配置しました。継続事業として、入学祝金 2,070,000 円は前年度対比 30,000 円の増で、真鶴町在住の小中学校入学児童 27 人前年度 37 人、生徒 42 人前年度 31 人に一人 30,000 円を支出しました。2 項小学校費 1 目学校管理費 決算額 61,254,602 円は、前年度対比 28,797,134 円の増です。主な理由は、増額では新たに支援員 1 名を配置したことによる増。備品購入事業 3,158,567 円は、前年度対比 1,759,940 円の増で、教科書改訂により、教師・児童用図書購入費 2,686,371 円が主な支出です。情報教育推進事業 7,623,921 円は前年度対比 2,067,710 円の増で、新規に 40 台のタブレットを増加したことによるものです。学校施設改修事業 24,597,814 円は皆増で、繰越事業として、空調設備設置工事設計委託料 1,370,714 円、空調設備設置工 18,032,300 円と新規事業として小学校防水改修工事 5,194,800 円を施工しました。減額については、修繕料 1,427,420 円は、前年度対比 2,291,087 円の減で、実施した修繕の内訳は、非常階段踊り場塗装 398,520 円、受水槽配管修繕 178,200 円、污水管補修工事 255,200 円等です。3 目給食費 決算額 12,058,621 円は、前年度対比 614,767 円の減です。学校がコロナ感染症対策として休校となったため、給食調理員の勤務日数が減少したため賃金の減額が主な要因です。3 項中学校費 1 目学校管理費 決算額 37,483,097 円、前年度対比 17,432,463 円の増です。増額の主な理由は、修繕料 3,059,393 円は、前年度対比 2,174,535 円の増で、高圧設備更新工事 842,400 円、体育館ステージ横床修繕 260,442 円、音楽室空調設備更新工事 605,000 円等を実施しました。情報教育推進事業 5,932,896 円は前年度対比 783,096 円の増で、教師用校務パソコンの更新に伴う情報教育システム借上げ料の増が主なものです。学校施設改修事業 13,677,294 円は皆増で、繰越事業として、空調設備設置工事設計委託料 1,370,714 円、空調設備設置工事 12,306,580 円を支出しました。4 項幼稚

園費 1 目幼稚園費 決算額 43,417,283 円は前年度比 7,802,661 円の増です。主な理由は、一般経費では前年度対比 1,220,812 円の増で、これは臨時職員 1 名を新規に配置したことによる賃金の増が主なものです。幼稚園施設改修事業 7,663,692 円は皆増で、繰越事業として、空調設備設置工事設計委託料 822,572 円、空調設備設置工事 6,841,120 円を支出しました。減額については、マイクロバス管理経費 696,114 円は、前年度対比 988,499 円の減で、故障により車検を通さず、修理もなかったための減額です。なお、故障後の 9 月 20 日以降は、町バスで送迎いたしました。5 項 1 目社会教育総務費決算額 6,132,305 円、前年度に対し 380,610 円の増です。主な理由は、一般経費が前年度対比 121,607 円の増で、これは社会教育指導員報酬及び職員の時間外勤務手当の増が主な要因です。青少年関係経費では、前年度対比 262,539 円の増で、グリーンエイド実行委員会補助金に舞台設営部材費用として 297,000 円の増額をしたことが主な要因です。3 目文化財保護費決算額 5,408,679 円は前年度対比 2,539,849 円の増です。文化財保護事業 5,184,000 円は、前年度対比 2,543,600 円の増で、小早船改修事業補助金 1,666,000 円及び小早船組立図面作成事業補助金 875,000 円が皆増となっています。4 目町民センター費決算額 36,254,275 円は前年度対比 19,736,855 円の増です。増額の主な理由は、新規事業として町民センター大規模改修工事施工管理委託料 484,000 円と町民センター大規模改修工事 23,012,000 円が皆増です。減額については、町民センター大規模改修工事設計委託料 2,494,800 円と植栽剪定委託料 496,800 円が皆減です。5 目民俗資料館運営費決算額 35,971,347 円は前年度対比 33,982,287 円の増です。増額の主な理由は、新規事業として公有財産購入費 34,800,000 円が皆増です。開館以来、無償貸与していただいた民俗資料館の土地・家屋を購入しました。修繕料 110,000 円は前年度対比 915,568 円の減で、今年度は門柱の修繕のみの支出でした。6 目美術館費決算額 31,561,105 円は前年度対比 9,274,106 円の減です。印刷製本費 524,707 円は前年度対比 3,331,646 円の減で、開館 30 周年記念図録の印刷費の減。広告料 146,680 円は前年度対比 260,480 円の減、美術品火災盗難損傷保険料 491,650 円は前年度対比 147,120 円の減で、いずれも開館 30 周年記念展に係る広告料及び借用絵画等に係る保険料の減です。前年度の特別展借用作品展示作業等委託料 1,660,586 円は皆減です。また、前年度の美術館運営基金元金積立 3,000,000 円は皆減です。7 図書館費 決算額 14,655,203 円は前年度対比 525,422 円の増です。増額の主な理由は、臨時職員賃金 3,648,390 円は前年度対比 440,580 円の増で、最低賃金改訂によるものです。備品購入費 80,992 円及び図書購入費 749,914 円は皆増です。減額の主な理由は、図書等備品購入費 599,911 円が皆減です。また、前年度の修繕料 141,480 円も皆減です。

8 貝類博物館運営費 決算額 12,206,431 円は前年度対比 3,417,703 円の増です。臨時職員賃金 2,296,125 円は前年度対比 202,755 円の増で、これは前年度、受付の臨時職員が病気欠勤していましたが、復帰したことにより増額となりました。海の学びミュージアムサポート事業（博学連携）3,005,914 円は新規事業で、皆増です。内訳は、海の学びミュージアムサポート事業（博学連携）委託料 1,800,000 円で、これは海の学校事業の機能強化と参加促進を図るための委託料です。海の学校を利

用する学校を対象に出前授業による事前・事後学習を実施し、海の学校当日の生物観察に目的意識を持たせるとともに、生態系や環境問題等に視野を広げる取組をしています。備品購入費 881,085 円は顕微鏡及びテーブルを購入しました。6 項保健体育費 1 目保健体育総務費 決算額 6,999,968 円は前年度対比 698,458 円の減です。減額の主な理由は岩ふれあい館管理運営事業 3,514,397 円は前年度対比 1,231,965 円の減です。内訳は、修繕費 743,870 円は前年度対比 885,235 円の減、岩ふれあい館グラウンド入口改修工事 997,920 円の皆減が主なものです。なお、体育器具保守点検委託料 11,000 円と植栽剪定委託料 649,100 円は皆増です。町民ニュースポーツ大会事業 439,509 円は、新規事業で皆増です。内容は、審判資格取得講習会講師謝礼 70,000 円は横浜ボッチャ協会から 3 名の講師を招き実施し、備品購入費 347,865 円はボッチャ用具を購入、が主なものです。2 目体育館運営費 決算額 5,877,209 円は、前年度対比 456,785 円の減です。光熱水費 770,906 円は、683,561 円の減、LED 化によるもの、修繕料 254,880 円は、平成 30 年度は消防設備非常放送設備修繕を実施、これがなくなり、令和元年度は、冷水器撤去、廊下壁他補修を実施、都合 471,262 円の減、清掃委託料 302,230 円は、73,054 円の減、一括入札による効果、AED 借上料 73,074 円は、11,814 円の減、中学校と併せて借上げを実施したことによる減、これらが減額の主な理由。管理指導員賃金 3,643,845 円は、763,935 円の増、平成 30 年度は数か月間職員が昼間ローテーションに入っていました、令和元年度は年間非常勤で賄ったことにより増となっています。歳出の決算合計は、413,702,002 円、前年度決算額に対し、94,589,108 円の増額となりました。

続きまして、主要事業実績をご覧ください。歳出につきましては、事業ごとに執行しており、主要事業実績一覧として、事業名、事業費決算額、事業概要を取りまとめました。主な事業概要について説明させていただきます。

なお、決算額は千円単位です。1 項教育総務では、英語力向上推進事業や心の教室相談事業、不登校訪問相談事業に係る講師や相談員の謝礼を支出しています。なお、英語力向上推進事業につきましては、前年度まで外国語指導助手事業という名称で事業を実施していました。従前の語学研修講師謝礼に加え、新規事業として英語検定料の補助を実施しました。児童生徒就学援助事業として、要保護及び準要保護児童生徒援助費として 1,431 千円と特別支援教育就学奨励費 142 千円を支出しました。これは経済的理由により就学が困難な児童生徒、特別支援学級に在籍する児童生徒のいる家庭に対し学用品等の補助を実施するものです。5 項 社会教育費では、青少年関係事業で、成人式運営委託料 99 千円、青少年育成連絡会補助金 500 千円、グリーンエイド真鶴実行委員会補助金 501 千円、中学生グローバル人材育成事業補助金 1,086 千円等を支出しました。生涯学習関係事業では、家庭教育学級、人権教育講演会及び生涯学習研修会等の講師謝礼を支出しました。各種講座等を企画・開催することにより、生涯学習・家庭教育支援を行いました。公民館事業では、公民館の貸館業務の受付等を行う臨時職員賃金として 999 千円を支出しました。また、趣味の講座としての公民館教室や夏休み中の子どもフェスティバルの講師謝礼を支出しました。文化財保護事業では、文化財保護思想の普及のため文化財だより印刷製本費 143 千円を支出しました。新規事業として、小早船改修事業補助金 1,666

千円と小早船組立て図面作成事業補助金 875 千円を支出しました。町民センター施設管理経費では、開館から 30 年以上が経過した建物の外壁補修や空調設備等の大規模改修を実施しました。海の学びミュージアムサポート事業（博学連携）は新規事業で、特定非営利活動法人ディスカバーブルーへ委託料 1,800 千円と顕微鏡やテーブル等の備品購入 881 千円を支出しました。従前から実施している海の学校の強化・充実を図りました。6 項 保健体育費 社会体育関係補助事業として、社会体育団体の育成を図るため町体育協会助成金 308 千円を支出しました。また町民ニュースポーツ大会事業では、パラリンピックの正式種目のボッチャ競技に注目し、幼児から高齢者まで運動に親しむボッチャ大会を実施しました。以上で説明を終わりにします。

教育長： 一括してご質問やご意見があればお願いします。よろしいでしょうか。では、令和元年度教育委員会関係決算についてお認めいただける方は挙手をお願いします。

全委員： （全員挙手）

教育長： 全員賛成です。以上をもちまして、協議事項を終わります。では、真鶴町教育委員会 7 月定例会を終わりにします。ありがとうございました。